ゆずりはの森から

第169号
2017年3月9日発行

NPO法人
ゆずりは学園

小学生
中学生
高校生
大学生
社会人

第12回 卒業式を迎えて

保護者からの手紙 3

修学旅行“ディズニー・シー”

3年間お世話になりました。

入学した時は、3年間通えるか、行事ごとの参加・レポートなど期限までにできるかといういろいろな不安と心配がありました。

学校に行っても何もやらずに帰ってきてレポートをどっさり持って帰ってくる始末。けど、友達との関係をみると、みんなと仲良く遊んだり、しゃべったりしている姿を見ると、あー元気なのが一番なのかなぁと思ってみたりもしました。

こうして振り返って3年間続けられたと言う事は、ママさんやパパさん、スタッフの皆様のお蔭と根気だったのだと改めて思います。先生方には多大なる迷惑をかけたと思います。感謝しております。本当に3年間お世話になりありがとうございました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊（S・Tの母）

我が子が持ち帰った3年間の課題のプリントのファイルを見た時は、あまりに厚いことに驚いたと同時に雨の日も風の日も文句のひとつも言わず黙々と漕いだ自転車のペダル。バイトで疲れた体には帰りの上り坂はかなりキツかったと思います。

「3年間の思い出は?」と聞くと、長野スクーリングでやったバトミントン、キャンプ、初体験のカヤックでの川下り、修学旅行、ディズニー通の後輩と乗りに乗り回った数々のアトラクション。

夕方、食事を囲みながらその日の出来事を話し、聞くのが我が家の日課、ゆずりはに通う前は、どうなるかと思いましたが、今は笑いの絶えない食事が出来ています。大学に進学できることになりました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊（I・Fの母）

パパさん、ママさん、先生方々、3年間本当にお世話になりました。

中学卒業時、行ける高校がなく、学校という場所に絶望していた私達は、ゆずりは学園を知りました。初めてママさんとお話させて頂いた時は救われる思いで涙を流しました。「こんな良い子達はいないよ」と。どうしようもない息子ですがと話した後の返答に自分が恥ずかしくなりました。それからは胸を張って自慢の息子と言える様になりました。

途中続けられるかなと不安になった時期がありました。先生方が根気良く連絡下さり、何時でも何時間でもレポートにつき合って頂き、こんなに生徒の事を考え、思ってくれる学校の先生がいるんだなと、ゆずりは学園の温かさを実感しました。

親子共々この3年間で多くの事を学び、感謝の言葉しかありません。亨弥にとって自慢の母校ができました。本当にありがとうございました。

卒業しても、温かいパパさんママさん先生方、そうか見守って下さい。よろしくお願いします。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊（K・Kの母）

私がゆずりは学園を知ったのは五年前でした。高校卒業できるまで面倒を見てくれるのは、ここゆずりは学園だけでした。ママさんは電話で「心配しないでいつでもいらっしゃい」と詳しい事も聞かず受け入れて下さいました。皆と同じ様に学校に通わせてやれると思い、安心し、どれ程救われたか、ママさんと話している間にも涙が溢れてきました。入学して年齢も違う、抱えている問題も違う多くの仲間が出来ました。家に遊びに来る子は皆笑顔で挨拶もし、話もしてくれます。家には居場所がないと続けて遊びに来る子もいました。今では苦しかった時の事を話してくれるまでになりました。ここまで来るのに時間がかかった事でしょう。パパさんママさんのお蔭で笑って言えるまでになりました。卒業して多くの不安を抱えて外の世界に出る子、息子もその一人です。学園に残る子、いろいろですが「失敗したらここへ戻っておいで」と言ってくれるパパさんママさんが居るから、笑顔で卒業証書が受け取れると息子は言います。楽しい学園生活をありがとうございました。

パパさんママさん、この学園をつくってくれてありがとうございます。どうかこれからも少しでも多くの悩める子供達を救ってあげて下さい。そして卒業していった子供達の為にも変わらない元気な笑顔でこのゆずりは学園を開けていて下さい。3年間本当にお世話になりました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊（K・Mの母）

3年間、息子を支えて頂きありがとうございます。入学をさせて頂いた当初は、本人のやる気も感じられましたが、時間が経つにつれ、学園に行く事よりも、友人や趣味の方へ関心が強くなり、なかなか親に話すことを嫌がっている時もありました。学園をやめると言い出した事もありましたが、皆さんが気にかけてくれ、まずは本人の話を聞いて頂いたおかげもあり、ご迷惑も多々掛けましたが、本人が卒業するという目標をやめずにすみました。感謝しております。そしてこれからは、このいろんな経験、感じてきた気持ちを忘れず、社会人として頑張ってほしいです。これからはもっと大変な試練もあると思いますので、心配もありますが、皆さんが支えてくれた様に、私も見守っていこうと思います。ママさん、子どもさんは良い子ですよ！と言って下さった事、とても嬉しかったです。ありがとうございました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊（Y・Yの母）

息子が通っていた高校を不登校となり、「ゆずりは学園」の存在を知りました。また学校へ行きたいという本人の意志が固まるまで長い時間でした。

生徒の子の雰囲気、パパさんママさんスタッフの人柄を見て、自分で通える自信が持て、おかげさまで3年間通うことができました。パパさんママさんスタッフの方々が生徒一人一人の個性をきちんと見極め、その子に合った接し方。親も勉強になりました。今も「やる気スイッチ」がなかなか入らない時もあります彼のこれからの課題だと思ってます。

深く感謝しています。ありがとうございました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊（Y・Tの母）

卒業生からの手紙

藤井一希

ママさんへ

1年生の途中から約２年少しお世話になりました。最初は右往左往して毎日が不安でした。最初は大人の事が信用できなくて全員が怖かったです。でもゆずりはに入ってママさんに会って色々な大人がいるんだなと感じました。ママさんはとても生徒思いで温かみがあって、転校してからとても気持ちが楽になりました。みんなに慕われてていいなぁと思いました。自分はなかなか前に出れないタイプで気遣ってばっかりだったけど、少し明るくなれたと思います。一番の思い出は長野にスクーリングに行った事です。スポーツが出来てとても良い体験でした。３年生の時のキャンプも２日間天候が悪くサバイバルみたいな感じでしたけど、川下りもカレー作りも良い体験でした。ゆずりはでもレポートをやっている時に声を掛けてくれたり、バイト終わりでついでに行ったら「頑張ってるねぇ」と言ってもらえて本当に嬉しかったです。これから大学へ進学して理数が苦手で大変そうですけど、一生懸命頑張ります。環境もガラッと変わり辛く苦しい事もあると思いますが、必死に耐えて頑張ります。本当にありがとうございました。

お知らせ

自閉症・アスペルガー等の
「発達障害」の子を持つ親の会
ゆずりはの会（180回）
○日時／3月10日(金) PM1:30~3:00
○場所／ゆずりは学園
（毎月第2金曜日 4/14・5/12・6/9）

お問い合せ・連絡先

ゆずりは学園事務局
〒441-3421 田原市田原町池の原15-3
TEL:0531(22)3515 FAX:0531(22)7761
e-mail:kutsuna_ike@yahoo.co.jp
http://www.yuzuriha-gakuen.com/
http://ameblo.jp/yuzurihaschool/
http://ameblo.jp/kutsuna-diary/

募集

NPO法人 ゆずりは学園 会員希望者

●賛助会員／年会費2,000円
●正 会 員／年会費5,000円
●寄　　付／自由

銀行振込み
三菱東京UFJ銀行
（普）田原支店
□座名義／ゆずりは学園
理事　沓名智彦
□座番号／3627714

郵便局振込み
□座名義／特定非営利活動法人
ゆずりは学園
□座番号／00870-6-136039

お便りを郵送します。お名前・ご住所をご連絡下さい。